

TECHS補足スライド

- 次のスライドは、国際トラウマティック・ストレス学会Webセミナーとして呈示されたスライドのうち、TECHSのスライドセット以外のものである
- TECHS実施において非常に重要な点が扱われていると考えられたことから本編とは別に翻訳した

日本語訳：久留米大学医学部神経精神医学講座
石田哲也，小林雄大，松岡美智子，大江美佐里 （アルファベット順）

TECHSを自施設で使うためのヒント

- スタッフのニーズの優先順位をつけましょう
 - スタッフのプライバシーと安心感を忘れずに(共有を強要しない)
 - ストレス状況下における集中力の持続時間を考慮する
 - スタッフの業務時間と重ならないよう考慮する

- 計画
 - スタッフのスケジュールや参加可能な時間帯を考慮する
 - スタッフの中には学習/専門的研修にあまり時間を割けない人がいることも覚えておきましょう
 - オンラインツールを使いましょう

TECHSを自施設で使うためのヒント

- **医療に携わる人全員にTECHSを提供しましょう**
 - 医療スタッフ、清掃員、給食、管理者、受付スタッフなど

- **守秘義務について明確にしましょう**

- **参加者がつながりを感じられるよう支援しましょう**
 - あなたの環境ではどのオンラインシステムが有用ですか？

よくある質問や懸念事項

- **どのくらいのスピードでTECHSを行えばいいですか？**
 - 早急に終わらせないように気をつけてください
 - 参加者がツールを使うために時間を共有することが重要です
 - 状況に応じて、ツールを分割するなどし、短いセッションを複数回行うことも検討しましょう

- **どうすれば最大限に使いやすくなりますか？**
 - このツールをどのように活用するかについて、参加者がディスカッションする時間を最後に設けられるよう考慮します
 - 役割モデルとしてあなた自身の体験談を話すことも検討しましょう—そうすることで、グループはつながりを感じられるようになります

よくある質問や懸念事項

- **TECHSを実施するための形式にはどんなものがありますか？**
 - 時間がある人が参加できるような定例会
 - 支援を求める特定のグループとの定期的ミーティング
 - 外部従業員支援組織やピアサポートプログラムのスタッフによる実施
 - 注意：あなたが安心でき、かつ参加者を得られるよう、誰とグループを組むか検討しましょう

- **ABCモデルを使用するときの選択肢はどんなものですか？**
 - BのBeliefs(信念)の同定が難しいと感じる方もいます
 - AのAdversity(逆境)からBを飛ばしてCのConsequences（結論）に進み、B（信念）に戻る方法もあります

よくある質問や懸念事項

- **TECHSを個人で使いたい時はどうしたらいいですか？**
 - 個人で実施していたとしても、他者の視点を入れる努力をしましょう
 - ・ あなたの同僚はどんな逆境を選択するでしょう？
 - ・ あなたの同僚は何があなたの強みだと考えていますか？

- **TECHSを集団で行う場合、どのように提示したらいいですか？**
 - 全員がつながりを感じられ、自己紹介し合える時間を必ず持ちましょう
 - グループのメンバー間でラポールを形成し、以前からある信頼関係を理解しましょう
 - ツール毎に、協力やディスカッションを促しましょう

内容のご質問は、英語で下記にお願いします。

Wrap-up

- **More questions, comments, or feedback?**
 - Contact the Center for Pediatric Traumatic Stress at cpts@email.chop.edu
 - Contact Julia Price, PhD at julia.price@nemours.org

As a reminder, this webinar presents the TECHS slide set dated April 9 2020.
Occasional updates of the TECHS slides will be made available at the link below

To learn more, visit: healthcaretoolbox.org/tools-and-resources/covid19